



出典：DKI Jakarta データより JICA 専門家チーム作成

図 D2-7 各下水処理区の人口密度分布図（2030 年/50 年：中期/長期計画）

D2.5 下水処理区の優先度

改定 M/P においては、上述のとおり、既存の下水処理区であり、且つ現在計画がすでに策定されている「処理区 No.0」に加え 14 の処理区を設定した。なお、「B4.1 ジャカルタ下水道・衛生改善プロジェクトで建設したオフサイト処理施設の現状」で前述したように、処理区 No.0 は拡張プロジェクト実施中（東 Setiabudi 処理場）および処理場計画中（Krukut ポンプ場）であるため、以下の「処理区の優先付け」の対象外とする。

D2.5.1 下水処理区の優先度を定める指標

下水処理区の優先度は、表 D2-6 に示される 8 項目の指標について検討し、決定する。

表 D2-6 下水処理区の優先度を定めるための評価指標

指標 No.	指 標	備 考
1	人口密度が高い。	汚濁負荷量が多い
2	WWTP の候補地が処理区内に確保されている。	建設及び維持管理コストが低い、施工性が高い
3	可能な限り下水幹線の延長は短く、河川を横断しない。	建設及び維持管理コストが低い、施工性が高い
4	下水道に料金を支払う可能性のある商業施設が多い。	将来の料金徴収が比較的容易である
5	既存下水道システムが存在する。	将来の料金徴収が比較的容易である
6	社会経済状態が良くない。	水因性疾患の件数が多い。汚濁負荷量が多い
7	河川の水質が良くない (BOD が高い)	汚濁負荷量が多い
8	地下水の水質が良くない (大腸菌が多い)	汚濁負荷量が多い

出典：JICA 専門家チーム作成

D2.5.2 指標に対する各処理区の定性的・定量的評価

指標に対する各処理区の定性的・定量的評価については、以下に示す方法で優先度をつけるものとする。

- ① それぞれの指標について、14 処理区の数値を定性的、定量的に評価する。
- ② それぞれの指標について、各処理区の順位を決める（例えば指標 1 人口密度であれば、人口密度がもっとも高い処理区が 1 位、指標 2 処理区であれば処理場が確保されている場合が 1 位）
- ③ 各処理区の順位に対してそれぞれのポイントをつける。(1 位=14 ポイント、2 位=13 ポイント、3 位=12 ポイント……14 位=1 ポイント)